



いつの日か必ず来る<蒼天>を信じて

コロナ禍で誕生した邦楽演奏・日本舞踊家集団「蒼天」第三回公演開催！



2020年から、世界中が苦しめられたコロナウイルスによって、私たちの生業とする伝統芸能も例外ではなく、大きな影響を受けました。

様々な公演が中止になり、先の見えぬ日々モチベーションを失い、頭を悩ませる時もありました。

しかし、かつてない難局をむかえようとも、そこに立ち向かっていくのもまた、人としての性(さが)なのかもしれません。世界中が苦しんでいる今だからこそ立ち上がり、自分たちの生業とする日本の伝統芸能の力で、すべての方々を元気にしたい！そんな志を同じくした者達が集い〈蒼天〉を結成しました。

今回、12月に開催する第三回公演では、大人はもちろん、蒼天メンバーと同世代の若者や子どもたちにより親んでもらえるような内容を企画しています。

私たちが表現する場を奪われたのと同じように、彼らも生の舞台に触れる機会を奪われました。特に伝統芸能は、元々、学校行事でしか見る機会がない若者が多いジャンルでもあります。コロナ禍で学校行事も減った今、教科書で見たことがあるだけというような遠い存在になってしまっているかもしれません。

長い歴史のある伝統芸能には、良き日本の文化、そして日本人の心が詰まっています。

私たちの公演を通し、その魅力を伝え、より身近に感じてもらいたい。そして、伝統芸能を未来につないでいきたい！それは私たち若手の邦楽演奏家集団だからこそできることなのではないだろうか。

そんな思いをこめて、あらたな公演に挑みます。

第三回「蒼天」公演

開催日時：2021年12月26日(日)15時開演(45分前開場)

会場：日本橋社会教育会館8階ホール

内容：

1. 邦楽ワークショップ：公演をより楽しくわかりやすくご覧いただけるよう、楽器や長唄、日本舞踊について解説。蒼天ならではの見せ方で伝統芸能を紹介いたします。
2. 吹き寄せ：長唄の名曲をメドレーで構成しました。舞踊と演奏をスピード感のある転換でお見せし、長唄の魅力をお伝えします。
3. 新作ワークショップ：オーケストラからJ-POP、バレエから現代劇にいたるまで、伝統芸能は様々なジャンルとコラボレーションをしています。今を生きる伝統芸能について解説を交えて実演。昨年はコロナ禍で活動できない中、オンラインでバトンを繋ぐように音楽や踊りを重ねていく「オーバーダビングチャレンジ」も行いましたが、この挑戦で完成した曲なども披露します。
4. 新作舞踊「蠍と蛙」：第二回蒼天公演で創作・初演した新作舞踊。コロナ禍で活動の場を奪われてもなお、自分たちで場を創り、工夫を重ねながら伝統芸能を続ける私たちの思いを重ねて創作しました。サソリとカエルの寓話を題材に、生き物の性を描きます。

出演：東音伊藤薫子、東音大島早智、松永忠三郎、杵屋史弥、望月左太晃郎、藤舎夏実、藤舎雪丸、藤間直三、花柳貴伊那

料金：3,000円(税込)

チケット販売：蒼天オンラインチケットサービス <http://confetti-web.com/souten>



蒼天 Facebook：<https://www.facebook.com/蒼天-104267737973902/> Twitter：[@souten_souten](https://twitter.com/souten_souten)

2020年、「世界中がコロナ感染拡大の煽りを受けて弱ってしまった今、生業とする伝統芸能をもって人に寄り添い、支え、勇気を与えたい」と、東京藝術大学出身の邦楽演奏家・日本舞踊家有志が立ち上げた【蒼天】。邦楽演奏・日本舞踊公演のほか、子供たちがコロナ禍でも伝統芸能に親しめるよう工夫したノンバーバルパフォーマンス「夢の国の物語」など新しい企画にも積極的に取り組んでいる。